

2019年7月8日

(臨床研究に関するお知らせ)

和歌山県立医科大学附属病院泌尿器科に、乳頭状腎細胞癌で通院歴のある患者さんへ

和歌山県立医科大学人体病理学講座では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご案内するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、本学倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

腎深部に発生した進行期高異型度乳頭状腎細胞癌の有する変異および遺伝子発現プロファイルに関する後ろ向き観察研究

2. 研究責任者

和歌山県立医科大学人体病理学講座 講師 小島 史好

3. 研究の目的

乳頭状腎細胞癌は均一な疾患ではなく、その亜型分類は十分確立していません。一部の乳頭状腎細胞癌は予後の悪い集合管癌と臨床病理像が類似していますが、両者を分子学的に比較検討した報告は認められません。本研究では腎深部を主座とする進行期の高異型度乳頭状腎細胞癌の分子学的特徴を集合管癌のそれと比較検討します。本研究において高悪性度の乳頭状腎細胞癌と集合管癌との関係性を明らかにすることで、特に稀少疾患である集合管癌に対する理解が深まり、今後両者の取扱いや新規治療の導入に有益な情報を与えることができると考えます。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

乳頭状腎細胞癌の患者さんで、平成11年1月1日から平成31年3月31日までの期間中に、腎切除術の治療を受けた方。

(2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、年齢、性別、摘出腎の左右の別、治療歴、切除した原発巣および転移巣の癌の肉眼写真および組織像、癌の遺伝子と染色体に関する情報です。

(3) 方法

切除された乳頭状腎細胞癌の組織像、免疫染色の特徴を顕微鏡的に観察します。また癌の遺伝子やその発現を専用の機器を用いて解析します。癌の染色体の変化も特殊な手技を用いて検討します。

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることは決してありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被るこ

とは一切ありません。

7. 問い合わせ先

和歌山市紀三井寺 811-1

和歌山県立医科大学人体病理学講座 担当医師 小島 史好

TEL : 073-441-0635 FAX : 073-444-5777

E-mail : fumiyosh@wakayama-med.ac.jp